

伊勢湾・三河湾の水産資源に必要な 栄養や生息場について考える シンポジウム

参加費
無料

先着
150名

近年、伊勢湾、三河湾では、海苔の色落ちや漁獲量の減少が生じており、生物に必要な栄養の不足や干潟等の生息場の減少が課題となっています。これらの課題を解決するためには、各組織の枠組みを超えた伊勢湾再生推進体制による相互取り組みが重要となります。

今回のシンポジウムでは、水産資源の回復に向けた栄養塩の在り方や生物生息場の環境について、学識者・行政・漁業者等と議論を交わし、近い将来の伊勢湾・三河湾について考えます。

日時

令和4年 **10月25日(火)**
14:00～17:00 (開場 13:30)

会場

名古屋市ウインクあいち
5階 小ホール1 (定員150名)
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

申し込み

会場での参加をご希望の方は、
①氏名(ふりがな)
②ご所属
③メールアドレス をご記入のうえ、
下記のアドレス宛に送信してください。
pa.cbr-isewan-saisei@mlit.go.jp

プログラム

主催者・来賓挨拶

基調講演 (30分)
「伊勢湾シミュレーターによる生物資源量の
予測結果について」
名城大学大学院総合学術研究科 特任教授 **中田 喜三郎**

話題提供 (40分)
「ブルーカーボン生態系とJブルークレジットの取り組みについて」
ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事長 **桑江 朝比呂**
「海域の基礎生産力の変化による水産資源と生態系の応答について」
愛知県水産試験場 主任研究員 **曽根 亮太**

パネルディスカッション (80分)
コーディネーター：**中田 喜三郎** 名城大学大学院総合学術研究科 特任教授
パネリスト：**鈴木 輝明** 名城大学大学院総合学術研究科 特任教授
青木 伸一 大阪大学大学院工学研究科 教授
桑江 朝比呂 ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事長
蒲原 聡 愛知県水産試験場 場長

会場案内図

◇お問い合わせ先 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 宇野・梅田 TEL.052-209-6329

主催：国土交通省中部地方整備局・愛知県